

大分合同新聞

朝刊

19年 大分合同新聞社
0-8605 大分市府内町3-9-15
大分合同新聞社 2011
536-2121 別府 0977-22-2121
538-9674 FAX 0977-25-1230

8/25
木曜日

県内の政治・経済

【報道部】
政治班 097-538-9622
経済班 097-538-9623
FAX共通 097-538-9673

ビジネスチャンス 商機をつかめ

県ベンチャー協モンゴル訪問

▷ 下 ◁

「脅威になり得ず」

「ピンク色がかかった岩塩はモンゴルでも量が減っている。すぐ情報を集めて送る」

県ベンチャー協議会とモンゴル雇用主連盟が今月初め、モンゴルの首都ウランバートル市で開いた商談会。健康食品や調味料を扱う「さ・し・す・せ・そ・本舗」（大分市）の姫野千里社長は、同市で観光業のほか岩塩も扱う会社の経営者が持ち込んだ商品を手に話し込んだ。パッケージは

日本語表記。経済大国・日本とのビジネスはモンゴルの企業にも魅力ある挑戦のようだ。

高い技術力と人材育成のノウハウ、豊富な資金を持つ日本に寄せるモンゴルの期待は大きい。中古車で最も人気があるのは日本製。ウランバートル市内のカシミア工場では日本製の機械が「故障が少ない」と高い評価を得る。日本が政治的、軍事的な脅威になり得ないこともプラスという。協議会メンバーと会見し

所得インフラ治安



経済交流会でモンゴルの企業経営者と岩塩について話す県ベンチャー協議会の姫野千里さん（右から2人目）とウランバートル市内

たモンゴル政府のボンツァ・ツアガーン大統領補佐官は「モンゴルは世界で最も発展する可能性を秘めていて、皆さんのモンゴルでのビジネスを全面的に支援する」と協力を表明した。

展示会開催目指す

一方で日本とモンゴルの所得水準の違いは、ビジネスを進める上で大きく立ちはだかる。外務省によると、モンゴル人の月収は業種によって異なるが数万円程度。日本と同じ価格で商品販売するのは難しい。インフラ整備の遅れやなかなか改善しない治安といった社会的な問題も残る。協議会の池辺和寿理事長（日本建築工業社長）は2007年からモンゴル国内

市場に合った売り方を

（報道部・友永敬介）